

NUBIC知的財産情報開示

開示日： 2012年03月05日

各位

NUBIC知的財産情報の要約をお届けいたします。
尚、NUBICベンチャークラブ特別会員、一般会員にはすでにお知らせしています。

	NUBIC管理番号: <input type="text" value="2010000058"/>	整理番号 <input type="text" value="11465"/>	担当者 <input type="text" value="井上 典之"/>
表 題	<input type="text" value="多孔質立体構造体"/>		
技術分野	<input type="text" value="食品・バイオ"/>	<input type="text" value="歯科"/>	<input type="text" value="生体材料"/>
適用製品	<input type="text" value="骨再生用基材, 再生医療用スキャホールド, 細胞培養用培地基質"/>		
目 的	<input type="text" value="骨欠損部位に骨造成, 骨新成を期待する際にその部位に軟組織の存在が骨芽細胞を分化させる上で必要となる。そのため軟組織が嵌入するための三次元的構造体であること, 材料自体が弾性を示し生体に機械的刺激を与えないこと, 生体親和性および生体活性を有していること等が要求される。"/> <input type="text" value="これらの条件を満たす材料の開発と応用を目的とした。"/>		
技術概要	<input type="text" value="本材料は, 生体親和性を有し, 三次元的に細胞を保持するための多孔質立体構造をなしている。生体外(乾燥状態)では, 薄膜の連続気孔を有する多孔体の硬化体であるが, 生体内では, 体液を吸収し柔軟となり弾性を示す三次元多孔質体となる。気孔径は繊維芽細胞嵌入が容易になされるような口径で, 壁材は生体親和性を有しており細胞の生着, 伸展および増殖を期待できる。また, 壁面には生体活性を付与しているため骨芽細胞への幹細胞の分化を想定した。経時的に体内に吸収され, 数週間で消失する。一箇体は, 約3mm立方の小体をなしており, 生体への填入の自由度を高めている。"/>		

技術移転等をご希望の場合は, 下記事項をご記入の上, 本用紙にてお申込みください。

(FAX, e-mail, 郵送いづれでも可。)

各担当コーディネーターからご連絡を差し上げます。

面談希望日時	<input type="text"/>		
(ふりがな) 氏 名	<input type="text"/>		
会社名	<input type="text"/>		
所 属	<input type="text"/>	役職	<input type="text"/>
電話番号	<input type="text"/>	FAX番号	<input type="text"/>
E-mail	<input type="text"/>		
連絡事項	<input type="text"/>		



【申込み・問い合わせ先】

日本大学産官学連携知財センター(NUBIC)

〒102-8275 東京都千代田区九段南4-8-24 日本大学会館

TEL:03-5275-8139 FAX:03-5275-8328 E-mail:nubic@nihon-u.ac.jp